

あべ弘士の 絵本と美術

— 動物たちの魂の鼓動 —

展覧会名: あべ弘士の絵本と美術—動物たちの魂の鼓動—
会 期: 2022年7月2日[土]~8月28日[日]
会 場: 佐野美術館
開館時間: 午前10時~午後5時(入館の受付は午後4時30分まで)
休 館 日: 木曜日(8月11日は開館)
入 館 料: 一般・大学生1,100円 小・中・高校生550円
* 8月1日(月)は無料(創立者・佐野隆一翁誕生日) * 毎週土曜日は小中学生無料
主 催: 佐野美術館、三島市、三島市教育委員会、Daiichi-TV
後 援: 静岡県教育委員会
協 賛: 伊豆箱根鉄道株式会社
協 力: ギャラリープルプル
企画協力: ステップ・イースト

展覧会の趣旨

佐野美術館は、2022年7月2日[土]~8月28日[日]の期間、絵本作家・あべ弘士の展覧会を開催いたします。

あべ弘士は、「行動展示」で世界的に知られる北海道・旭山動物園の飼育員として1972年から25年に渡り勤務。画文集『旭山動物園日誌』を経て、在職中の1989年に『雪の上のどうぶつえん-なぞの あしあとの まき-』で絵本作家としてデビューしました。その後は、自らを育んだ北海道の大自然や動物たちに宿る野生の本能を描き続けています。

本展では、絵本や児童書など約40タイトルの原画を中心に創作の足跡をご紹介します。

展覧会のみどころ

旭山動物園の飼育員としての経験や、海外への取材を通じ、大自然の中で生きる動物たちと身近に接してきたあべ弘士。躍動感にあふれ、ときにユーモラスに描かれた動物たちの「命の物語」は、見る人の心を揺さぶります。

本展では、代表作『あらしのよるに』(作・木村裕一)をはじめ、故郷・北海道のアイヌの文化や自然をテーマとした『クマと少年』、アフリカへ取材した『ライオンの○○ないちにち』シリーズなどの原画を展示します。

色鮮やかで力強い、あべ弘士の世界をお楽しみください。

展覧会の主なイベント

◆あべ弘士さん来館記念イベント 講演会「地球はどうぶつでいっぱい」、サイン会
7月2日(土) 講演会/13:00~14:00 サイン会/14:10~

広報用画像

本展の紹介記事等を掲載される場合には、1～8の画像と、展覧会チラシ掲載の画像をデータで提供できます。電話、FAXまたはメールでご連絡ください。

※画像掲載をする場合、作品クレジットおよびコピーライト(©Hiroshi Abe)の明記をお願いします。



1.



2.



3.



4.



5.



6.



7.



8.

1. 『森からのながみ③』(文:N.スラトコフ 訳:松谷さやか・2002年/福音館書店)
2. 『そらいろのけもの』 「かがくのとも」2004年12月号
(原作:V.V.ピアンキ 再話:澤口たまみ・2004年/福音館書店)
3. 『雪の上のどうぶつえん-なぞの あしあとの まき-』 「かがくのとも」1989年3月号
(1989年/福音館書店)*1997年改題『雪の上のなぞのあしあと』
4. 『あらしのよるに』(作:木村裕一・1994年/講談社)
5. 『クマと少年』(2018年/ブロンズ新社)
6. 『ライオンのへんないちにち』(2002年/佼成出版社)
7. 『よんでたのしい!いつたのしい!どうぶつえんガイド』 「かがくのとも」1991年4月号
(1991年/福音館書店)
8. 『ふたごのしろくまくるくるぱっちゃんのまき』(2012年/講談社)

©Hiroshi Abe

お問い合わせ

佐野美術館 広報グループ 深沢・西脇

〒411-0838 静岡県三島市中田町1-43 Tel. 055-975-7278 Fax. 055-973-1790

URL <https://www.sanobi.or.jp/> E-mail koho@sanobi.or.jp

※新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、展覧会の内容を変更する場合があります。